

新潟県の地震概況 令和8年(2026年)2月

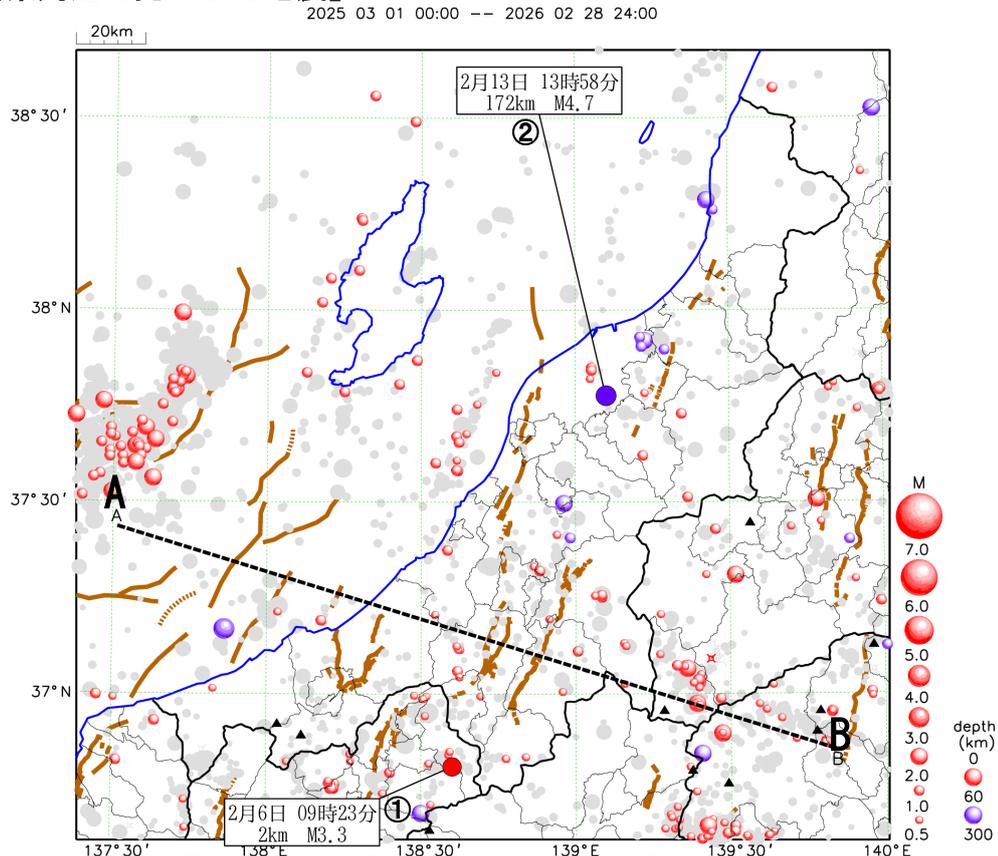
令和8年3月16日

新潟地方気象台

【2月の地震活動概況】

この期間、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は2回(最大は震度1)でした。このうち、新潟県とその周辺(図1)で発生した地震で、県内で震度1以上を観測した地震は2回でした。(「期間内に発生した主な地震」を参照)

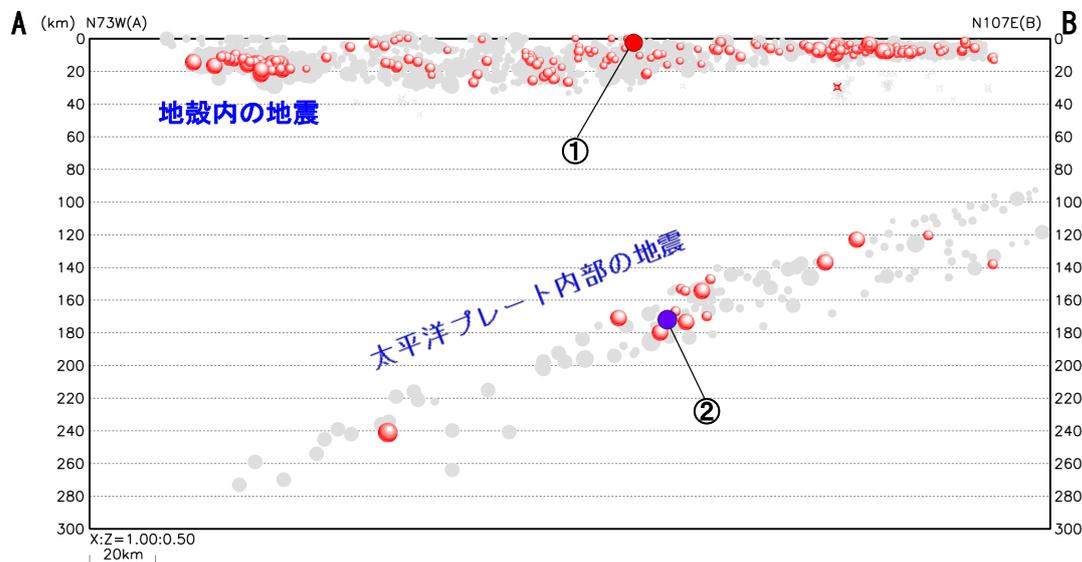
【2月に新潟県周辺で発生した地震】



※過去1年間の地震を表示。令和8年2月に発生した地震を赤又は青、それ以前はグレーで示した。

※図中の茶色線は地震調査研究推進本部で長期評価されている活断層を示す。

※図中の▲は活火山を、✕は深部低周波地震を示す。

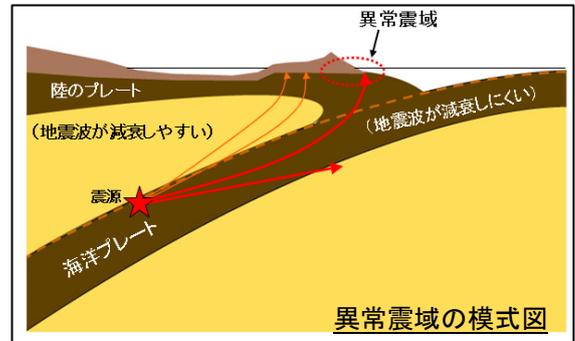


【期間内に発生した主な地震】

① 6日09時23分 長野県北部の地震（深さ2km、M3.3）により、長野県栄村で震度2を観測したほか、群馬県、新潟県及び長野県で震度1を観測しました。新潟県内では十日町市で震度1を観測しました。この地震は地殻内で発生しました。

② 13日13時58分 新潟県下越地方の地震（深さ172km、M4.7）により、福島県、茨城県及び新潟県で震度1を観測しました。新潟県内では長岡市、三条市及び刈羽村で震度1を観測しました。この地震は太平洋プレート内部の深い場所で発生しました。

このような地震（深発地震）では、直上に伝わる地震波は減衰するのに対し、太平洋プレートを伝わる地震波はあまり減衰しないため、震央に近い新潟県よりも震央から遠い太平洋側の方が揺れが強くなる現象（異常震域と呼ばれる）が見られます。



【新潟県内で震度1以上を観測した地震】

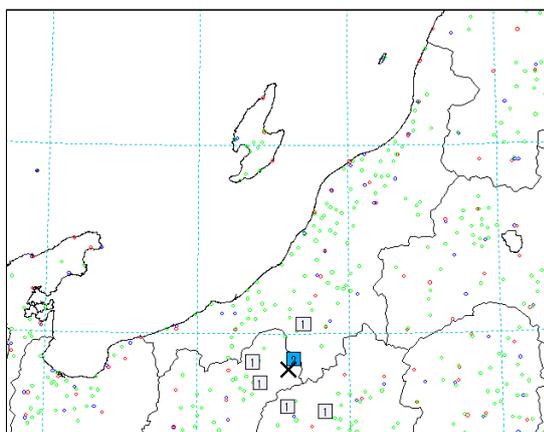
期間 2026年2月1日～2026年2月28日

地震の発生日時（年/月/日/時:分）	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	全国最大震度
各地の震度 *は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点						
① 2026年02月06日09時23分	長野県北部	36° 48.6' N	138° 36.0' E	2km	M3.3	2
震度 1：十日町市上山*						
② 2026年02月13日13時58分	新潟県下越地方	37° 46.6' N	139° 06.0' E	172km	M4.7	1
震度 1：長岡市山古志竹沢*、三条市新堀*、刈羽村割町新田*						

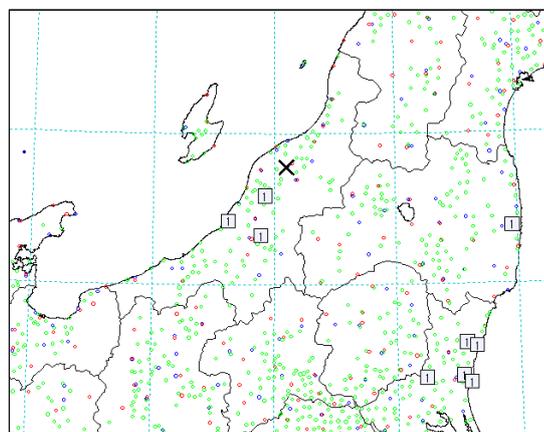
【震度分布図】

図中○は震度観測点を示す

① 6日09時23分 長野県北部
観測点別震度分布図



② 13日13時58分 新潟県下越地方
観測点別震度分布図



【新潟県内で最大震度 1 以上を観測した月別・震度別地震回数表】

年	2025 年										2026 年		合計
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
震度 1	3	4	1	0	3	0	1	0	1	6	5	2	26
震度 2	0	3	1	0	2	2	0	3	4	3	0	0	18
震度 3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
震度 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	7	2	0	5	2	1	3	5	10	5	2	46

【火山活動状況（新潟焼山）】

新潟県の活火山「新潟焼山」の火山活動状況や警戒事項については、以下の資料をご覧ください。

「新潟焼山の火山活動状況」（気象庁HP）

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/307.html

注) 利用にあたって

- 資料は速報であり後日の調査により変更されることがあります。
- 新潟県内で震度 1 以上を観測した地震の一覧表の震度は、県内のみを記述しています。また、最大震度は、県内または県外での値を記述しています。
- 気象庁では地震の震源、マグニチュード等を算出するにあたり、国立大学法人などの関係機関から地震観測データの提供を受け(注1)、文部科学省と協力して処理を行っています。また、震度の情報は、地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供された観測データを含めて発表しています。

(注1) 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025 年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

- この地震概況は新潟地方気象台ホームページの地震解説資料・地震概況のページに掲載しています。
https://www.data.jma.go.jp/niigata/jishin/jishin_kaisetu_index.html
- 資料についての問い合わせ先：新潟地方気象台電話：025-281-5872

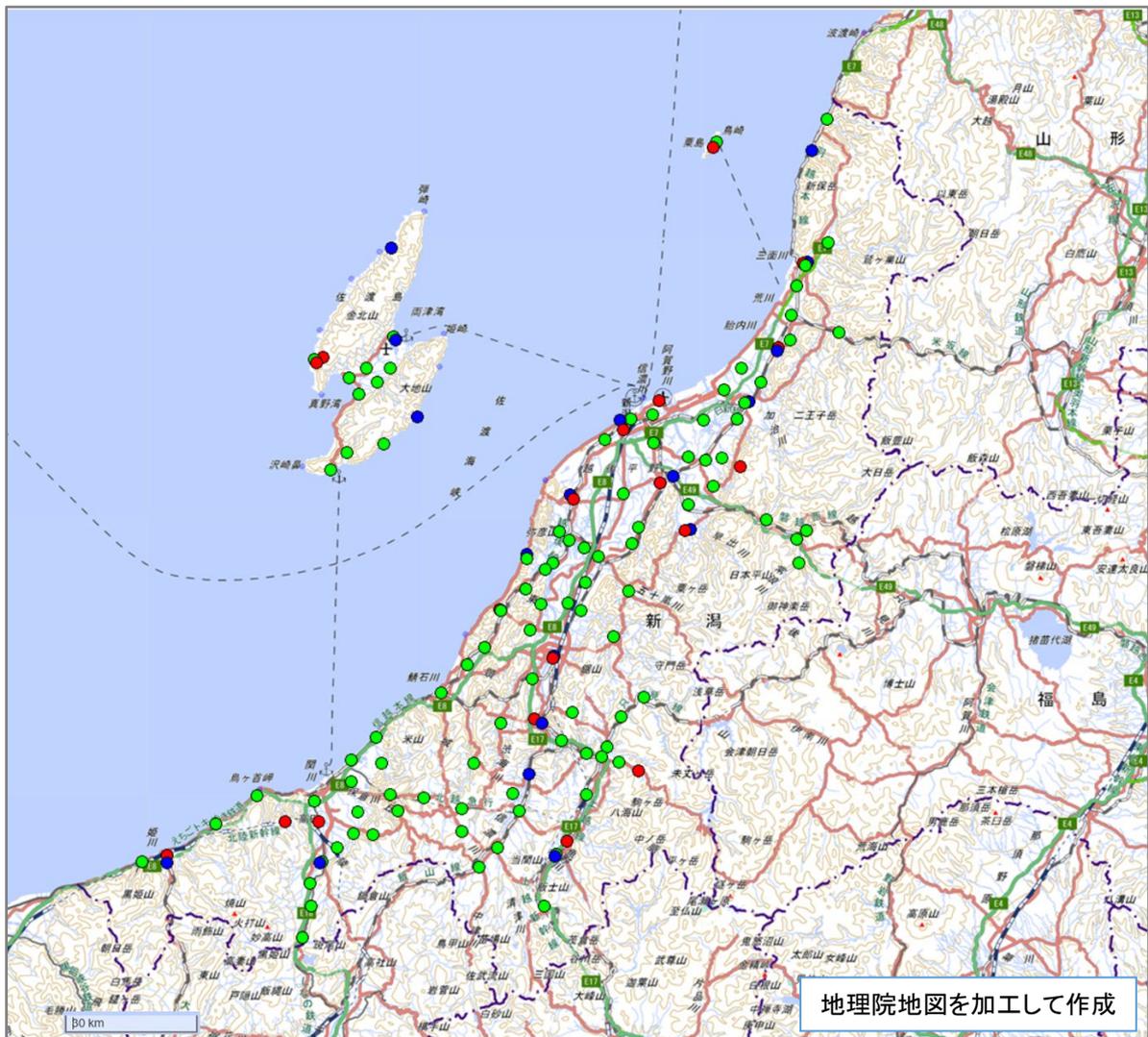
新潟県内の震度観測点

新潟県内には地震情報に用いる震度観測点が135点あります。気象庁の19地点、防災科研(国立研究開発法人防災科学技術研究所)の18点、新潟県の98地点を用いています。

地震発生時には気象庁に集められた観測データを、地震情報としてまとめて発表し、市町村の初動対応や、迅速な広域応援対応の判断に利用されています。また、報道機関等を通じて一般の方へ、地震情報として提供されています。

震度計は、基本的に市町村毎に設置されており、県内では30市町村全てに設置され、市町村によっては複数設置されている所もあります。これは、震度計が平成の市町村合併前の市町村に設置されたことや、気象庁、防災科研の震度計が市町村内の別の場所に設置されているためです。

地震の揺れを感じた時に、発表される震度と感じ方が違う場合があるのは、同じ市町村内でも震度計の設置場所からの距離や、地盤の違いによるものです。



● 気象庁 ● 新潟県 ● 国立研究開発法人防災科学技術研究所

揺れを感じた時や、地震情報を知りたい時などは次のページをご利用下さい。

○地震情報 (気象庁ホーム > 防災情報 > 地震・津波)

https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map

○震央分布 (気象庁ホーム > 防災情報 > 地震・津波)

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=hypo>

○震度データベース検索 (気象庁ホーム > 各種データ・資料 > 地震・津波・火山)

<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>